

科目名	自然環境のしくみ	
担当者	岩船 昌起 / IWAFUNE, Masaki	
科目情報	教養科目3群 / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 1年次	
	教養科目「受講生参加科目」 / 学芸員科目 / 選択 (法定科目名「地学」)	
科目概要	授業内容	イチョウやカンアオイ等の植物, サケやシカ等の動物, 地形・地質を取り上げ, 自然環境に関わる基本的な内容を解説したい。その際, 特に自然史的・地学的な観点からアプローチし, 環境問題と人間の生活・行動との関わりについても紹介する。
	到達目標	①自然環境の構成要素(地形・気候・植物・動物等)の特性について論述できる。②日本における自然環境の歴史的な変遷(特に第四紀)を論述できる。③現代の生活と自然環境とのかかわりを論述できる。
授業計画	(1) ガイダンス：授業の概要と成績評価の方法等 (2) 人類発達の時代：第四紀の自然環境の変遷 (3) 火山とプレートテクトニクス：日本の地形・地質の基礎知識 (4) 鹿児島の大地の成り立ち (5) 環境と植生：植物生態・植生地理に関する基礎知識 (6) 環境と動物：動物生態に関する基礎知識 (7) 氷河時代-ヨーロッパと日本を比較する (8) 日本の森は太古の森：周北極植物群と日本の植生 (9) 遺存種たちは今：スギ, イチョウ, サケ, サルなど (10) 自然環境と人間の生理：環境変化と人間の生理的な適応 (11) 氷河時代に発達した人類 (12) 環境問題を地球の歴史から考える (13) スライドショーあるいは研究紹介① (14) スライドショーあるいは研究紹介② (15) 総まとめ ※ 講義の進展に応じて, 内容が加除修正される。	
自学自習	事前学習	・配布する資料末尾の「参考文献」等を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書やWeb検索等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・内容等に関連する文献等を読み, 紹介した場所等の検分を安全に配慮した上で行うこと。
使用教材・参考文献	【教】教科書を特に指定しないが, 毎回資料を配布する。 【参】毎回の資料にて参考文献等を紹介する。	
成績評価方法と基準	＜基準＞レポートおよび小テストは, 「到達目標」を基準として採点する。講義後のアンケート等への記述を授業の理解を計る目安とする。 ＜方法＞期末レポート60%, 巡検レポート25%, 小テスト15%を目安とする。	
備考	野外での授業(巡検)を行いたい。詳細は, 第一回目の授業で決定する。また, パソコン教室の使用のため, 受講者数を制限する。さらに, 教員が指示する『読書』課題の遂行を, 受講生の成績評価に加味, あるいは成績評価を受けるための前提とする。詳細は, 初回の授業で説明する。	